

コリント人への手紙一 12:28-13:1 霊的な賜物の序列

今日も霊的な賜物の議論を続けて行きます。この議論に疑問が生じます。教会で誰の霊的賜物が最も重要であるかどうか判断するのでしょうか。霊的な賜物にはその重要性の序列などあるのでしょうか。今日の聖書箇所はそれを取り上げています。ここ第一コリントでのパウロの霊的な賜物の考察を通して私たちの学びの旅路を続けます。12章28節から 13章 1節まで見ていきます。この聖句は、先週の聖書箇所にも含めることもできましたが、聖霊は使徒パウロを通して私たちを先この章の最初の賜物のリストには載っていなかったある特別な何かを知るように導いてくれているようです。そして、パウロの賜物の(順位を付けての)列挙を中心に展開していきます。まず、この聖書箇所を読み、これらの霊的な賜物の序列に関して何が重要であるかを見ましょう。

コリント人への手紙 第一 12章28~13章1節 12:28 神は教会の中に、第一に使徒たち、第二に預言者たち、第三に教師たち、そして力あるわざ、そして癒やしの賜物、援助、管理、種々の異言を備えてくださいました。 29 皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。すべてが力あるわざでしょうか。 30 皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がその解き明かしをするでしょうか。 31 あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。私は今、はるかにまさる道を示しましょう。 13:1 たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。

この聖書箇所が霊的な賜物に順列を付けた唯一の箇所ですが、このように順に記載されたリストはこれだけではありません。これら最初の三つ順番がつけられている霊的賜物は同じ順番にエペソ人への手紙4章11-12節に記載されています。 **エペソ人への手紙 4章11~13節 11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。 12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。 13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです。**

もちろん、パウロはコリント人への手紙では伝道者を含まず、エペソ人への手紙では教師を教会内での、羊飼いの定義も持つ牧者、または牧師という言葉を含めて展開させています。これらの二つの言葉、牧者と教師は調和しており同じ人を指していると見ることができます。牧師と教師は一つの賜物と読むことができます。

最初の三つに特別に順番を付けた後、彼は私たちの奇跡、癒し、援助、管理、そして最後方の位置に異言を語る事と、異言の解き明かしを教会の賜物と指摘しました。1月29日の説教で12章の最初の部分を網羅した時に、異言の賜物がパウロの二つのリストで共に一番最後に触れられている事は意義があるようですと指摘しました。ですから、彼の順列には何か重要性がありそうです。しかし、なぜ、最初の三つ、使徒、預言者、と教師は特別に番号を付けたのでしょうか。まずこれらの特別な賜物がなんであるか見てみましょう。最も基本的な定義で、使徒は遣わされる人という意味です。しかし、新約聖書で用いる使徒は、イエス・キリスト御自身によって直接任命された者たちが使徒と呼ばれました。私たちはこのことを明確に私たちが12使徒として知る男たちに見ます。これについて、ルカの福音書6章13節が伝えてくれています。 **ルカの福音書 6章13節 13 そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をお与えになった。** もちろん、私たちにはこの書の筆者であるパウロもいます。彼はイエス・キリストの昇天後に、キリストとの超自然的な出会いを通して直接主に任命されています。他にも数名そのグループ以外で使徒と呼ばれた人たちがいますが、彼らはイエスの信者で彼の復活後に彼に会い、彼が大宣教命令のお言葉を伝えられて、天に昇られた時、その場にいたと思われる限られた人たちです。イエス・キリストの第一人称の証人であることに加え、彼らの使命のより重要な部分は神の御言葉の直接的な啓示の主要な源であることです。新約聖書の5書、或いは6書、以外は全て彼ら使徒たちによって執筆されています。使徒以外の執筆者による新約聖書の書はヤコブの手紙、マルコの福音書、ルカの福音書、使徒の働き、ユダの手紙、そしてたぶんヘブル人への手紙です。しかし、彼らの誰の場合でも使徒たちと密接な関係を持ち、イエス

とも個人的に時間を過ごしたと思われます。例えば、執筆者のヤコブはイエス御自身の異父兄弟でしたので、明らかに彼はイエスと共に時間を過ごしていました。**ルカの福音書 6章 13節 13** **そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をお与えになった。**

もちろん、現在も使徒の存在を認めている教会があります。

聖書の書き方からすると、これは賜物の一つですが、最初の使徒たち

の死後は、新たな使徒は立てられていないようです。多くの使徒のいる教会には、聖書では決してありえない、自称使徒、または教会内の指導者をそう認める場合があります。しかし、使徒の使命は単なる指導者として仕える事ではなく、イエス・キリスト御自身の直々の任命を受けた権威によって神の御言葉を伝える事です。もし、今日、誰かが同じ権威を行使して、神のからの直接の啓示を語っている言うのならば、

聖書の御言葉と矛盾することは決して言うことはなく、神の御言葉からの直接啓示によって実証されるべきです。そうであるならば、もうすでに、神の御言葉の直接啓示が聖書にあるので、新たな使徒のメッセージは不要です。この後すぐに、預言についても同様に論証します。これも現代の教会で非常に乱用された賜物の一つで、現在もいまだに続いています。私は、GOSPEL COALITIONの執筆者であるアフリカ人牧師 LUCKY NYKO MOGAKANE 氏に強く賛同します。彼はこう言いました。現代の教会は現代の使徒に追随するのではなく、神の使徒に与えられた言葉に戻るべきです。なぜならば、教会は神の御言葉に跪くか、立つか だからです。ここに記載されている第二の賜物は預言です。この賜物が何であるかについての様々な見解は数多くあります。女性が被り物を着ける事について議論した時、公に女性が祈ったり預言を語る時に必要であることに触れたことを覚えていますか。この定義に導く、聖書的研究を含むより長い論文があります。しかし、私はRICHARD BLAYLOCK 氏が他のGOSPEL COALITIONの論文で定義した新約聖書の預言がとても気に入っています。新約聖書の預言はこのように定義することが出来ます。明瞭なメッセージの奇跡的な行為であり、自然的な神の啓示に根差し、聖霊によって力が与えられ、その結果として三位一体の神の全位格の特性となりうる言葉が与えられ、それを聴くか読む者は絶対的な真理として従うよう受け入れなければならない。**この定義**はより木目細かく繊細です。他の好まれている解釈の仕方よりも聖書に沿っています。多くの福音主義者には新約聖書の預言は基本的には説教です。神の御言葉が宣べ伝えられ、伝えられた言葉が聖書の聖句を正しく説明する時、正に預言が語られるのです。対極には新約聖書の預言が旧約聖書の預言と同じく未来を予示するという見方もあります。これは主に、カリスマ派の団体が未来を明察する現代の預言者を信じる事に見られます。多くのそれらの預言者たちはキリストの再臨の時を予言するような偽りの預言を検証できるようなものではない曖昧であやふやな預言にもかかわらず多くのフォロワーを集めています。しかし、真実はBlaylock氏の定義が位置する中心よりにあります。預言は聴く人に理解できるものでなければなりません。一つの簡単な例は、**テモテへの手紙 第一 7章 18節 18** **私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言にしたがって、私はあなたにこの命令を委ねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と健全な良心を保ち、立派に戦い抜くためです。**

これらの言葉は明らかにテモテとパウロ両者に理解されています。そして、**コリント人への手紙 第一 13章 2節** は天からの啓示の側面を示しています。**2** **たとえ私が預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、私は無に等しいのです。**全ての奥義と知識を理解することは全知の神、御自身をおいてはありえません。もちろん、12章で見たように、それらの賜物は全て 聖霊から来ます。しかし、預言を与えることには三位一体の全ての位格が関わっています。ヨハネの神から与えられた預言である黙示録の書で、彼は父なる神とイエス・キリストにも誉を帰しています。**黙示録 7章 1~2節** **1** **イエス・キリストの黙示。神はすぐに起こるべきことをしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これをしも**

ベヨハネに告げられた。2 ヨハネは、神のことばとイエス・キリストの証し、すなわち、自分が見たすべてのことを証した。

真の預言は絶対的真理であり、必ず成就されます。エフェソ2章で、パウロは実際に真の預言を新約聖書の大部分となる、使徒たちの語ったこととを結びつけています。エペソ人への手紙 2章 19~20節 19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。

預言が超自然的に神からの完全に権威ある御言葉である性質上、私は現代教会でもいまだに預言が語られていると言うことは躊躇します。使徒についての警告は預言に関しても当てはまりません。現代の教会は現代の使徒、そして、預言に追随するのではなく、神の使徒に与えられた言葉に戻るべきです。現代の教会、古代の教会、そして未来の教会に必要な預言の全てはここ聖書の中にあります。ペテロの手紙 第二 1章20~21節 は聖書について語っています。20 ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。21 預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

この順列のついたリストに第三の賜物があります。それは教師です。もうすでに、この言葉はエペソ人への手紙で牧者または牧師の連動する賜物と繋がっていると指摘しました。これは間違いなく、教会の牧師の職籍ですが、神の御言葉を教える賜物に与っている人は誰でも含まれます。教えることは、マタイの福音書28章20節、マタイの福音書28章20節 20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。の大宣教命令に従順に弟子を造るための不可欠の部分です。この賜物は他の二つよりも明快です。しかしこれら三つの賜物に共通する何がパウロに順列をつけさせそれぞれを別にしたのでしょうか。ここでも彼の意図に関して様々な見解があります。しかし、これら三つの賜物を調べると、それらは全て主に初期の教会開拓に用いられていました。使徒らは福音をキリストの証のない地域に運びました。そこで、預言の賜物が働き、まだ完成した新約聖書のない中、それぞれの地域の会衆に神は使徒が不在の時にさえ明確な指示を与えました。最後に、キリストの新しい信者たちがイエス・キリストの弟子に成る様、建て上げられるために定期的な継続する神の御言葉の教えと適用が必要です。教会開拓にはもはや使徒のミニストリーは不要です。彼らのミニストリーの下、改宗した者たちが福音を携えて教会を開拓しました。そして、新約聖書の完成後は預言の賜物は不要です。聖書の終わりにこう記されています。黙示録 22章 18~19節 18 私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。19 また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

ある20世紀の主要なカリスマ派神学者の一人が一部の人の現代的預言と比べて神の御言葉の完結性の取り扱い方を示す次の陳述を行いました。聖書は最重要な啓示の代わりに、まさに神の現在の活動の証人の一人になってしまった。御霊は生ける神として過去の証人の記録である聖書を通して、また、それを越えて動きます。たとえ、その記録が今日起こることのモデルとしてどれほど貴重であろうとも。このような陳述は聖書の証に沿っていませんが、現代の見方を映し出しています。神の御言葉の説教と教えが今日、教会を建て上げ、弟子を造る土台です。最初の三つの賜物に多くの時間を費やしてきました。これらを理解することは非常に重要です。それらがなぜ教会の成長と展開の鍵となったのか。ですが、他にもリストされている賜物もあり、また、重要な問題、みなそれぞれの賜物を行使しているのかどうか、があります。パウロはすでに私たちは同じ賜物を持っているわけではないことは明らかにしています。彼は彼の主張を続けます。もし、あなたが神が用いられる教会を建て上げるための重要な賜物に与っている人でなければ、あなたは重要ではないのでしょうか。全くそうではありません。その一方で、あなたに異言を語る力など超自然的な賜物があるとしたら、あなたは同じ信仰を持つキリストの信者より上のより霊

的なレベルに持ち上げられるのでしょうか。これもそうではありません。事実、それらの賜物は最上位の三つの賜物とさえ見られていません。ですから、私たちはより優れた賜物を求めるべきです。しかし、彼はここで終わらず、より大きな真理に向かいます。彼が言う、**はるかにまさる道を示しましょう。**です。それは、たとえ教会開拓のための優れた賜物であっても、または、劣ると見られる賜物であっても、全ての信徒のそれぞれの最も重要な賜物を行使する事によって一つとなる方法です。全ての人に与えられており、全ての人が行使することがそれ以外の何よりも重要だと言うことがわかります。その賜物は13章で紹介されていますが、その第一節でまとめます。**たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。**

これら主要な賜物はこれまで見てきたように不和を生じさせる異言を語る賜物と同様に全て語られる言葉が含まれています。しかし、あなたがたとえそれらの賜物に与っていたとしても、あなたの心に他の人のための愛がなければ、あなたの賜物は何の価値もありません。次の週にも私はきっと同じことを繰り返し言うでしょうが、福音は最初から終わりまで、愛のメッセージなのです。**ヨハネの福音書3章16節**はそのメッセージをこう言って示してくれています。**16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**

何と言う愛でしょうか。神は全ての主権を持たれる全ての人と全ての造られた物の創造主。永遠であり、全能、全てにおいて最高なる義であり、完全なるお方。私たち人間は有限な、造られた生物です。私たちは限りある肉体的命を短い年月 生きます。その限られた生涯を私たちの創造主に反抗して生きています。その犯行を罪と呼びます。聖書は私たち全員がその反抗によって骨の髄まで影響を受けていることを明らかにしています。**ローマ人への手紙 3章23節**

23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、

神の栄光を受けることができずとは、神の完璧さの的の中心をわずかに外したのではなく、自ら積極的に神の御心と目的に反抗することです。**ローマ人への手紙 8章7~8節**は、**聖書が私たちは肉のうちにある**という罪の状態にある事を描写しています。**7 なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に従いません。いや、従うことができないのです。8 肉のうちにある者は神を喜ばせることができません。**

しかし、そこで福音は私たちが生涯で経験し得る最高のメッセージを与えてくれるのです。

ローマ人への手紙 5章8節 8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

何と驚くべき愛でしょうか。私たちがまだ罪人であった時も、神は私たちに御自身の独り子、イエス・キリストを与えられたほどに私たちを愛されたのです。イエスを信じる者は、最終的に罪の永遠の死に滅びる事なく、永遠の命に与るのです。私たちは礼拝賛美で先ほどそれを歌いました。どのような愛が私たちの過ちを全知全能の神に忘れさせるのでしょうか。神は罪を数えず、底なしの海に沈められる。私たちの罪は数え切れないが、神の憐れみはそれ以上に深く大きい。主を賛美せよ。主の憐れみは暗闇より強く、朝毎に新しい。神が私たちに行使するようにと与えられた全ての賜物 のうち、最高のものは、私たちが経験した自己犠牲的な愛を他の人に示す能力です。私たちはそれぞれが同じ賜物に与っていませんが、愛に満ちた天の父からの同じ愛を皆経験しています。次週、イエス・キリストを知る人すべてが経験した愛がある事、その愛を与える事の意味を考えて行きます。あなたがイエス・キリストを主として、救い主とし知らなければ、是非、今あなたの罪を悔い改めて、イエス・キリストをあなたの主として、救い主として受け入れる事によって神の愛に応答してください。それはあなたが知り得る最高最大の愛です。祈りましょう。

1 Corinthians 12:28-13:1 The order of Spiritual gifts

Today, we continue to discuss spiritual gifts. A question can arise in this discussion, how do we determine whose spiritual gift is most important in the church? Is there even a hierarchy of importance in spiritual gifts? That is what our passage today addresses. Today we are continuing our journey through Paul's discussion of spiritual gifts here in 1 Corinthians. We are going to look at chapter 12:28 through chapter 13, verse 1. This passage could have just been included with last week's passage, but it seems that the Holy Spirit through the Apostle Paul is leading us to see something unique in this part of the passage that was not present earlier in the first list of gifts that came in this chapter. And it revolves around his numbering of these gifts. Let's read this passage and see what is significant about the **order of these spiritual gifts**. **1 Corinthians 12:28-13:1 says, 28 And God has appointed in the church first apostles, second prophets, third teachers, then miracles, then gifts of healing, helping, administrating, and various kinds of tongues. 29 Are all apostles? Are all prophets? Are all teachers? Do all work miracles? 30 Do all possess gifts of healing? Do all speak with tongues? Do all interpret? 31 But earnestly desire the higher gifts. And I will show you a still more excellent way. 13 If I speak in the tongues of men and of angels, but have not love, I am a noisy gong or a clanging cymbal.** This passage is the only place where spiritual gifts are given any sort of numbering, but it is not the only place we see this particular type of list. These first three numbered spiritual gifts also appear in the same order in **Ephesians 4:11-12. And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers, to equip the saints for the work of ministry, for building up the body of Christ, until we all attain to the unity of the faith and of the knowledge of the Son of God, to mature manhood, to the measure of the stature of the fullness of Christ...** Of course, Paul does not include evangelist as a gift in Corinthians and in Ephesians he expands teachers to include the word shepherd or pastor, which is also the definition of shepherd, within the church. Those two words, Shepherd and teacher are best read as going together and being found in the same person, so that it could be read as Pastor-Teacher being one gift.

And then after specifically numbering those first three gifts, he points our miracles, healing, helping, administrating, and again in last position, speaking in tongues and interpreting tongues as gifts in the church. I pointed out in the sermon on January 29 where we covered the first part of chapter 12 that it seems significant that the gift of tongues is mentioned last in both of Paul's lists. So, there is at least some significance to his order. But, why specifically number these first three, apostles, prophets, and teachers. Let's look first at these specific gifts and what they are. At its most basic meaning, the word apostle means "one who is sent." But as the New Testament uses the word, those who are called apostles were directly commissioned by Jesus Christ himself. We see this specifically in the men we know as the 12 disciples. **Luke 6:13** tells us about this. **13 And when day came, he called his disciples and chose from them twelve, whom he named apostles:** Of course, we also have the writer of this book, Paul who is an apostle through direct commissioning by Jesus Christ in a supernatural encounter after Christ's ascension back to Heaven. There are a couple of others that are called Apostles outside of that group, but it seems like even those are limited to people who were followers of Jesus and saw him after his resurrection and were possibly present when he spoke the words of the Great Commission and ascended into Heaven. In addition to being first person witnesses to Jesus Christ, a more important part of their mission was being the primary source of direct revelation of the Word of God. Other than 5 and possibly 6 books of the New Testament, all the rest were written by these apostles. The non-apostolic books of the New Testament are James, Mark, Luke, Acts, Jude, and possibly Hebrews. But in each of these cases, they are closely related to the

apostles and likely personally spent time with Jesus. For example, the writer James is the half-brother of Jesus himself so he clearly spent time with Jesus.

Of course we have churches that recognize apostles today. This is one of those gifts, though, that given how it is described in the Bible, it would seem to not have been active after the death of the original apostles. For most of these apostolic churches, these are sometimes self-appointed apostles, which is never the case in the Bible or they are recognizing leadership within the church. But the purpose of the apostles was not simply leadership, but direct authority to speak God's Word on commission from Jesus Christ himself. If someone today says they exercise that type of authority, that they are speaking direct revelation from God, then it cannot contradict anything in the Bible the Word of God and should be validated by direct revelation from the word of God. If that's the case, then there is no need for the apostolic message, since we already have the direct revelation of God in the written Word of God. I would also make that same argument regarding Prophecy which we will get to in a minute. This is one of those gifts that has been greatly misused in the modern church, if it is even still active. And I would strongly agree with what Lucky Nyko Mogakane, an African Pastor writing for the Gospel Coalition, said. He said, "The modern church must go back to the apostolic word of God, rather than running after modern apostles. For the church falls or stands on the word of God."

The second gift listed here is Prophet. This is a gift where there are many different ideas for what this is. Remember that we briefly mentioned it when discussing women wearing headcoverings, because the headcoverings were required when women prayed or prophesied in a public way. There is a much longer article with Biblical research leading to this definition, but I really like the way Richard Blaylock defined New Testament prophecy in another article for the Gospel Coalition. NT prophecy can be defined as (1) a miraculous act of intelligible communication, (2) rooted in spontaneous, divine revelation and (3) empowered by the Holy Spirit, which (4) results in words that can be attributed to any and all members of the Godhead and which therefore (5) must be received by those who hear or read them as absolutely binding and true. This definition is more detailed and nuanced, but aligns to Scripture more than some of the popular ways of interpreting this. To many evangelicals, New Testament prophecy is basically preaching. Anytime the Word of God is preached, and the words that are said correctly explain a text of Scripture then prophecy has happened. There is also the opposite extreme that New Testament prophecy is the same as Old Testament prophecy of foretelling the future. This is mostly seen in Charismatic circles who believe there are modern day prophets who continue to give clear insight into the future. Many of these prophets continue to have followers in spite of vague non-specific prophecies that could apply to almost any situation or verifiably false prophecies that do not occur like predicting the time of Christ's return. But the truth is more in the middle where Blaylock's definition is at. The prophecy must be something that is understandable to the listener. One small example is [1 Timothy 1:18](#), This charge I entrust to you, Timothy, my child, in accordance with the prophecies previously made about you, that by them you may wage the good warfare... These were obviously spoken words that were understood by both Timothy and Paul. [1 Corinthians 13:2](#) shows the Divine revelation aspect. [2 And if I have prophetic powers, and understand all mysteries and all knowledge...](#) Understanding of all mysteries and knowledge can only come from the omniscient, all knowing, one himself – God. Of course, we have seen throughout chapter 12 that all of these gifts are from and can be attributed to the Holy Spirit. But the entire Trinity is involved in the giving of prophecy. In the book of Revelation which is John's prophecy he received from God, he attributes it to God the Father and Jesus Christ as well. [Revelation 1:1-2](#) says, He made it known by sending his angel to his servant John, 2 who bore witness to the word of God and to the

testimony of Jesus Christ, even to all that he saw. True prophecy has to be regarded as absolutely true and binding. In Ephesians 2, Paul actually ties true prophecy with what the apostles say which became most of the New Testament. [Ephesians 2:19b-20a](#) says, *you are fellow citizens with the saints and members of the household of God, 20 built on the foundation of the apostles and prophets...* Given the nature of prophecy that it is supernatural completely authoritative Word from God, I am hesitant to say that it is still active in the modern church. The warning I quoted about apostles would be accurate for prophecy as well. [The modern church must go back to the apostolic word of God, rather than running after modern apostles...or prophets.](#) All the prophecy we need for the modern church or the ancient church, or the future church is right here in the Bible. [2 Peter 1:20-21](#) speaking about the Bible says, *20 knowing this first of all, that no prophecy of Scripture comes from someone's own interpretation. 21 For no prophecy was ever produced by the will of man, but men spoke from God as they were carried along by the Holy Spirit.*

There is a third gift here listed in this numbered list, though, and it is **teachers**. I already pointed out that this word is tied to the coordinating gift of Shepherd or Pastor in Ephesians. This is definitely the Pastoral office of the church, but it could include anyone with the gift of teaching the Word of God. Teaching is included as an integral part of making disciples in obedience to the Great Commission in [Matthew 28:20](#), *20 teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age.* This gift is more straightforward than the other two. But what do these three gifts have in common that would lead Paul to number them separately from the others. Again, there is some difference of opinion as to what he means, but when you examine these three gifts, they are all used primarily for the planting of the first churches. The apostle took the gospel to these areas without the testimony of Christ. Then, the gift of prophecy is at work in each of the local congregations in the absence of the completed New Testament so that God can give clear direction for the churches even when the apostles are absent. Finally, the regular ongoing teaching and application of God's Word is necessary to build up these new followers of Christ to become disciples of Jesus Christ.

Apostolic ministry is no longer necessary to the planting of churches those converted under their ministry went out with the gospel to plant the churches. And the gift of prophecy is unnecessary after the completion of the New Testament. [Revelation 22:18-19](#) at the very end of the Bible says, *18 I warn everyone who hears the words of the prophecy of this book: if anyone adds to them, God will add to him the plagues described in this book, 19 and if anyone takes away from the words of the book of this prophecy, God will take away his share in the tree of life and in the holy city, which are described in this book.* One of the premiere Charismatic theologians of the 20th Century made the following statement that shows how some have treated the finality of the Word of God compared to modern prophecy. [The Bible truly has become a fellow witness \(instead of the primary revelation\) to God's present activity. . . . The Spirit as the living God moves through and beyond the records of past witness \(that's the Bible\), however valuable such records are as a model for what happens today.](#) Statements like that are not in keeping with the testimony of Scripture, but they reflect modern views. The preaching and teaching of God's Word is the foundation for building the church and making disciples, today.

I know I have spent a lot of time going through those first three gifts because it is very important to understand them and why they were key to the church's growth and expansion. But there are other gifts listed as well as the key question, "Does everyone exercise these gifts?" He's already made clear that we don't all have the same gifts, so he is continuing his point. So, if you are not one of those key gifts God uses to establish his church, are you unimportant? Absolutely not! But on the other hand if you have a

supernatural type of gift such as speaking in tongues, does that put you on a higher and more spiritual plane than your fellow believers? Also, no! In fact they are not even considered in the top three of gifts, so we should desire the higher gifts. But that's not where he ends, he is heading to a much bigger truth, what he calls, **...a still more excellent way**. It is a way that unites all believers in the exercise of one overriding gift no matter whether they have one of the higher church planting gifts or one of what could be seen as a "lesser" gift. We will see that this gift that is available to everyone and must be exercised by everyone is more important than all the others. This is the gift that is introduced in chapter 13 as we close on that first verse. **If I speak in the tongues of men and of angels, but have not love, I am a noisy gong or a clanging cymbal...** Those primary gifts all involve spoken words as does the gift of tongues that we will see has become divisive, but even if you have those gifts, and do not have love in your heart for others, your gifts are worthless.

I'm probably going to repeat myself next week, but the gospel from beginning to end is a message of love. **John 3:16** shows us that message when it tells us that **"...God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life."** And what love it is. God is the Sovereign creator of everyone and everything. Eternal, All-powerful, supremely righteous and perfect in every way. We as human beings are finite, created beings. We live a limited physical existence of relatively few years, and yet live these limited lives in rebellion to our Creator. That rebellion we call sin, and the Bible is clear that all of us are affected to the core of our being by that rebellion. **Romans 3:23** says, **for all have sinned and fall short of the glory of God...** Falling short is not just barely missing the mark of God's perfection, it is actively rebelling against God's will and purpose. **Romans 8:7** describes us in this state of sin that the Bible describes as being **"in the flesh"**. **7 For the mind that is set on the flesh is hostile to God, for it does not submit to God's law; indeed, it cannot. 8 Those who are in the flesh cannot please God.** But that's where the gospel gives us the greatest message of love we could ever experience. **Romans 5:8** says, **8 but God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.** What incredible love! While we were still sinners, God loved us so much that he gave his only son, Jesus Christ, so that whoever believes in him, will not be ultimately lost forever in our sin, will **not perish**, but have eternal life.

This is exactly what we sang earlier in our worship. **What love could remember no wrongs we have done Omniscient, all-knowing, He counts not their sum Thrown into a sea without bottom or shore Our sins, they are many, His mercy is more Praise the Lord His mercy is more Stronger than darkness, new every morn' Our sins, they are many, His mercy is more.** Out of all the gifts that God gives to us to exercise, the greatest of those is the ability to show the self-sacrificing love we have experienced to others. So, while we don't all share the same gifts, we have all experienced the same love from our loving Heavenly Father. Next week, we look at what it means when to have and give this love that everyone of us who knows Jesus Christ has experienced. If you don't know Jesus Christ as your Lord and Savior, then I encourage you to repent of your sin and respond to God's love by accepting Jesus Christ as your Lord and Savior. It is the greatest love you will ever know. Let's pray.